

## 16夏 参院選

### 中沢議員、市民と野党の

### 「統一候補」押上げに奮闘

6、7月の参院選は実に画期的なものでした。それは史上初めて群馬選挙区で、市民の切実な要求に応じて野党(民進・共産・社民)が候補者を一本化したことです。しかも選挙政策を6点(戦争法廃止・安倍政権打倒・原発依存脱却・TPP脱退辞せず等々)も合意できたのです。全国32の一人区でも最高峰の到達点でした。

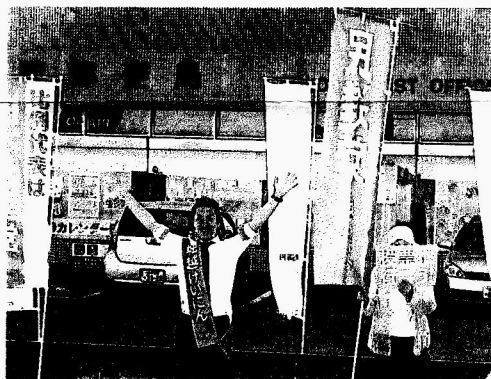
候補者は堀越啓仁さん、フクシマ原発事故で立ち上がった36才の若者です。社会変革の思いに純粋に燃え、立候補決意以来、政策を日に日に充実させて行きました。加えて生来の巧みな弁術と歌・演奏で聴衆を魅了しました。



—堀越候補、藤岡入り、中沢議員とともに市民に訴え(6月28日)—

堀越さんはまったくの無名候補ということ、藤岡でも応援組織をの声が起こり、その先頭に中沢議員が立ちました。名付けて「けいじん勝手連①」、著名な9名の方が呼びかけ人となってくれました。市内の政党、労組、団体、個人と声をかけ、ともに70名を集めて二度の集会・演説会、三度8カ所の宣伝行動に取り組みました。選挙本番の6月28日には堀越候補が藤岡入りしました。

選挙結果はご承知の通りです。期待した結果は得られませんでした。が、全国の市民と野党の統一候補躍進の一翼を担い、今後の進むべき方向を示せたと思います。



—堀越候補、「勝手連」集会後、郵便局前で宣伝(6月18日)—

### 市民の権利・環境の保全を

### 中沢議員—6月議会一般質問

まずは市民の権利に関して質問。市民の財産である山林や土地で公益に関わるものの場合、市が適正に管理する義務がある。例えば保安林や水路・用水路といった公共物である。ところが現状は市の対応が不十分のままに推移している。そのために納税面や所有者間で不要な揉め事が起きたり、公共物として機能しないまま放置されていたりする。地元の要望があるのだから、市は待ちの姿勢ではなく、積極的に関与すべきではないか。

次いで子育て支援に関して、支援センターは19カ所あるが、ボランティア頼みではない支援を、障害児児童への支援は全県でも先進的なので一層の充実、職員への処遇改善もと要望。最後に小中学校へのエアコン設置は前向きな回答が。



—堀越候補、「勝手連」集会で中沢議員とジョイント演奏(6月18日)—

## 戦争法廃止—2000万署名

### コープ藤岡店で6回の署名行動

あの戦争法だけは絶対に許せないという全国の声に応えて、2000万署名が昨年11月より取り組まれました。藤岡九条の会としてもこの間、コープ藤岡店の協力を得て入り口前で、6回の統一行動を組み、のべ53名が参加、334筆を達成しました。一筆一筆が結晶です。反応も比較的良く、中にはカンパを寄せてくれる人もいました。また回数を重ねると、「前に書いたよ」と答える人も出てきました。

最終的に全国で1400万筆近くに到達しました。この力は参院選での、戦争法廃止を掲げた候補者の押上げに必ず結びついたものと確信しています。



—2月21日、コープ藤岡での署名行動、この日は12名80筆—

## 原発はなくそう!

### 3.13さよなら原発アクション

この脱原発集会も今年で5回目を迎えました。今年も1000人を超える参加者で盛り上がりしました。ゲストの福島高教組・元女性部長の大貫さんが、原発事故に巻き込まれた怒りと悲しみを切々と語ってくれました。集会後のデモ行進は大部隊となり、市民に大いにアピールできました。中沢議員は集会初参加で、原発問題が心に深く落ちたようです。

政府の原発事故を風化させようという政策は一段と露骨になっています。被災者にも国民にも、聞く耳はまったく持っていない。それを突き破るには私たちの一層の運動が欠かせません。



## 中沢議員、諸活動にフル回転



中沢議員は若さを発揮して、議員活動はもちろん、さまざまな民主的活動にも邁進しています。

昨年8月に発足した戦争法反対の若者グループPAG (Peace Action from Gunma) の中心メンバーとして県内各地での集会や宣伝行動に参加しています。右写真上は「4.2」群馬大集会(2000人結集)での一コマです。

また中沢議員はギターの弾き手でもあります。右写真下のように、1月23日の議会報告会では、市政報告だけでなく、兼谷バンドとともに見事な腕前も披露してくれました。

2月には結婚もし、公私ともに充実です。